

## コース 32 <sup>しんえつ</sup>信越トレイル (セクション1)

リーダー CL T/K SL S/K  
 実施日 平成28年 9月 4日(日) 天候 晴  
 参加者 18人 (男性 2 女性 16)  
 グレード B上~C  
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
荻川駅東口		5:40	新津駅西口 区役所前 乗車確認
米山SA	7:10	7:25	休憩
斑尾高原チロル	9:05	9:20	登山準備 記念撮影 人数確認出発
斑尾山頂	10:55	11:05	記念撮影
大明神岳	11:20	11:30	
タングラムスキー場	12:15	12:40	昼食
袴岳山頂	14:25	14:55	記念撮影
赤池駐車場	16:00	16:15	靴履き替え 人数確認 バス乗車
米山SA	17:20	17:40	休憩
荻川駅東口	19:15		区役所前 新津駅西口 解散

### 山行等概要 (幹事のコメント)

- 当日は雨の心配もなく定刻に出発。現地には予定の時刻に到着。
- 登山準備を整え、記念撮影を済ませる。標高1382mの斑尾岳、登山口(チロル)から頂上まで高低差380mの急登なゲレンデを登る。風もなく暑い。少しペースを落とし、何回かの休憩を取る。急登なゲレンデを登り終わると眼下に斑尾の街、関田山脈が見える。遠望に6月に実施した希望湖、毛無山が見える。もうここへは来ることはないだろうと自分に言い聞かせて、今一度風景を見て頂上へ向かう。
- ここからは足に優しいブナ林の登山道で、斑尾山・大明神岳へと向かう。斑尾山頂には30分遅れ、記念撮影を済ませリュックを置いて大明神岳へと出発。15分ほどで大明神岳に到着。眼下に野尻湖、前方には妙高山・黒姫山・飯綱山の大パノラマが素晴らしい。ゆっくりしたかったが、時間の遅れがあるので早々に引き返し、斑尾山に置いてあるリュックを担いで昼食場所へ下山する。
- 下山コースの万坂山頂コースはスキー場のゲレンデなので、注意しながら下る。この場



斑尾山山頂 1,382m

所は平成 23 年に実施した際、一人足の捻挫をした場所。今年も滑って転んだが、怪我は無し。別の人から足の痛みを感じると連絡が来たので、緩やかな場所を探して昼食にする。

- 昼食時間を 30 分取り遅れを 10 分取り戻し、万坂峠へと下山開始。万坂峠から袴岳コースに入り、袴湿原・袴湿原コースの分岐へと進む。分岐点で休憩を取り、最後の登りの袴岳頂上へと登り始める。登山開始から 4 時間以上も過ぎていたので列に乱れが出る。あまり休憩を取り過ぎても悪いので、ペースを落として頂上へと向かう。帰りの出発時刻が気になる。
- 袴岳頂上への到着は、先頭と最後尾は 30 分ほどの差が出る。全体的には 1 時間遅れ。入浴を取りやめた予備の 1 時間を使い果たす。皆さんには事情を話して赤池駐車場より 16 時に出発できるように下山開始。休憩無しの 1 時間の下山。
- お疲れ様でした。皆さんのお陰で新津には予定の 19 時に着くことができました。暑い中、急登なグレンデの登り降りがありましたが、皆さんのお陰で無事に山行ができましたことに感謝いたします。

## 「信越トレイルに参加して」

(1674) S/H

6 月の信越トレイル（セクション 2）と、今回（セクション 1）で 2 度目の信越トレイル参加です。

青く澄んだ空が広がる中、斑尾高原スキー場を出発、斑尾山頂を目指してグレンデを登ります。9 月に入ったとはいえ、日差しを遮るものが何も無い急なグレンデは、ことさらに暑く、風もほとんどない中、たま～に吹く風が何倍も涼しく感じられました。水分補給をしながら、何とかグレンデを登り切りました。

さらに、登山道をしばらく進むと、斑尾山頂（1382m）に到着です。しばしの休憩の後、荷物を置いて少し先の大明神 岳まで行きました。そこからの眺望は素晴らしく、眼下に野尻湖、目を移すと妙高山や北アルプスの山々を見ることが出来ました。

斑尾山頂に戻り、又荷物を担いで、次の袴岳に向かうべく下山開始です。しばらく行くとタングラムスキー場のリフト脇に出て、そこから又グレンデを下ります。今日 2 つ目のグレンデです。途中の日陰で昼食をとった後、両側のすすきに確実な秋の訪れを感じながら、さらに下ります。



袴岳山頂 1,135m

アスファルトの道路を渡った先には、妙高市の看板があり、県境を跨いで道が続きます。アップダウンを繰り返しながら、小さな袴湿原を通り過ぎた先から、袴岳への本格的な登りが始まりました。比較的緩やかな登りで、きれいなブナ林が続く中を登ると、袴岳山頂（1135m）に到着。

記念写真を撮った後、セクション1の終点、赤池を目指して最後の下りが始まりました。途中、黄色のツリフネソウが群生して咲いていて、可憐な花に足の疲れもしばし忘れられ、ここまであまり花との出会いがなかったのも、その黄色がより一層鮮やかに、目に映りました。

長く感じられた下りも終わり、林道に出てさらに20分、「着いたよー」の声が聞こえ、バスの屋根が見えた時はとてもうれしく、ホットしたのを覚えています。

リーダーをはじめ同行した皆様、楽しい一日をありがとうございました。



信越トレイル起点 斑尾高原チロル登山口